



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE WEST

神戸西ワイズメンズクラブ

CHARTERED May 14th 1961

■事務局 神戸YMCA須磨ランチ 〒654-0081 神戸市須磨区高倉台4丁目12
TEL 078-734-0183 FAX 078-734-0585

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

西日本区強調月間 TOF・CS・FF

TOF・CS・FF資金の意義、活用方法を学習し、資金の効果的活用を図り、ワイズ活動を活性化しよう。 戸所 岩雄 地域奉仕・環境事業主任(彦根シャトークラブ)

今月の聖句

(イエス・キリスト)ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになるのです。

新約聖書 ヘブライ人への手紙 2章18節

2012年2月例会

日時 2月21日(火) 18:30~
場所 三宮、神戸YMCA、4階 サイコー亭
開会点鐘
ワイズソング
聖書朗読・祈祷
ゲスト紹介
誕生日のお祝い
ゲストスピーチ
「里親制度の現状と課題」
講師：橋本 明氏
(社団法人家庭養護促進協会事務局長)
献金贈呈式
事務報告
閉会点鐘

【例会にはプリテンをご持参下さい。】

報告 2012年1月例会

日時 1月17日(火) 18:30~21:00
場所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭
出席者 メン：井上恵子、上杉 徹、太西裕二、大田厚三郎、岡山泰典、加茂周治、野口善國、
山田喜代子、吉田昌義、
メネット：加茂眞喜子、松本恵子、宮田泰子、
ゲスト：川島芳雄(講師)、村山多紀子、

1月のデータ

在籍会員数	12名
例会出席者数	14名
うち会員数	9名
会員出席率	75.0%
メネット・コメント数	3名
ゲスト・ビジター数	2名

1月ファンド

25,000円

誕生日おめでとうございます!

(2月のお誕生日)

加茂 眞喜子 メネット (2月1日)

内 容

ゲスト講師による講話

「児童相談所の現状と課題」

講師 川島 芳雄 氏（甲南女子大学教員、前神戸市北区役所保健福祉部長）

〔川島講師から、戦後の児童福祉の流れの全体を短時間で教えていただきました。以下は概略です。〕

児童相談所の原型は、戦前から存在していたが、現在のような組織になったのは、戦後、児童福祉法ができてからです。児童福祉法は終戦直後（昭和22年12月）、戦災孤児への対応から福祉六法の中では最も早く成立。その中で児童相談所の役割や組織・職員の専門性についても定められた。しかし当時は、現実には、都市においては映画「螢の墓」のような状況や、農村部では児童の人身売買が残っていた。初期の頃の児童相談業務の中心は、養護相談と 非行相談。そして日本社会が豊かになるにつれて、育成相談、障害相談も加わり、と だけで、児童相談所の全相談件数の70～80%を占めるようになる。その後、幼児の虐待死亡事件への社会的関心の高まりの中で、児童虐待防止法（平成12年）が成立。現在では虐待対応のための専任グループが設置されて24時間対応している。

児童福祉のために何が本当に必要なかを考えると、基礎システム（危機介入システム）の整備、予防的介入システムの構築、優れた専門職員、が必要である。今、児童憲章（昭和26年5月5日制定）の条文を、みんなで読み直す事が重要である。そこには、「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、良い環境のなかで育てられる。」とある。大人はこの条文の噛みしめ、実現するため努力しなければならない。

2012年2月例会 予告

日 時 2月21日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭

内 容 ゲスト講師による 講話

「里親制度の現状と課題」

講師 橋本 明 氏（社団法人家庭養護者促進協会事務局長）

・献金贈呈式

2012年3月例会 予告

日 時 3月13日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、グリーンヒルホテル（会場が変更しています。ご注意ください。）

内 容 ゲスト講師による 講話

「海外旅行見聞録」

講師 小田 浩 氏（神戸ポートクラブ会員）

小田さんは、海外一人旅行の名人です。海外旅行の秘訣、楽しみ方を教えて戴きます。

東日本大震災復興支援関係の取組み

2011年12月26日付で、「HEXAGON DBCによる東日本大震災被災地慰霊の旅」（森田恵三、京都ウエストクラブ）が発行されました。神戸西クラブにも会員数の冊子が送られて1月例会時に配布を予定しています。その中で、森田恵三メンから次のような、具体的な提案がありますので、転記します。

HEXAGON DBCの協力事業として、「仙台YMCA 就園支援奨学金」事業を採択することを提案しています。

【事業概要】

- 1 .宮城県内で両親を亡くした児童は123名、片親を亡くした児童は実に800人を数えるとか聞き及びます。仙台YMCAとしては、就園受け入れ人数は未定ですが、1人当月額3万円(保育料・教材行事費)の費用負担を考慮して、児童2人の3年間支援継続を一応の目処としたいと考えます。
- 2 .各クラブがチャリティ支援事業やニコニコなど創意工夫を練ってファンドづくりに努力してHEXAGON会計に拠出したうえ、仙台YMCAに送金する。
- 3 .特定の就園児を指名していただき、ブリテンへの消息記事や交流をもって私達クラブとの心の絆を強めてゆける算段を図ります。
- 4 .今回の就園支援奨学金制度に協力する旨は、西日本区成瀬次期理事へもワイズ運動の一環として考慮されるべく要請しております。

今後の日程

2012年2月事務例会

日 時 2月28日(火) 19:00~20:00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 5階、503室

内 容 ゲスト講師による講話

「児童相談所の現状と課題」

講師 川島 芳雄氏(甲南女子大学教員、前神戸市北区保健福祉部長)

六甲部クラブ会長と神戸YMCA総主事懇談会

日 時 2月29日(水) 18:30~

場 所 三宮、神戸YMCA本館 4階、会議室

西日本区次期会長・主査研修会

日 時 3月10日(土)~11日(日)

場 所 新大阪チサンホテル

六甲部第2回評議会・新入会員研修会・懇親会

日 時 3月17日(土) 13:00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 チャペル他

お知らせ

大阪高槻ワイズメンズクラブ 30周年記念例会

日 時 2012年4月15日(日) PM2:00受付~6:30

場 所 たかつき京都ホテル(阪急高槻市駅、JR高槻駅西口よりシャトルバスあり)

内 容 記念講演 南蔵院住職 林 覚乗 (1953年生れ。福岡県篠栗町在住)

登録費 10,000円

京都パレスワイズメンズクラブ 40周年プラス1 記念例会

日 時 2012年4月22日(日) PM4:00受付~8:00

場 所 京都ホテルオークラ(京都市中京区河原町御池)

内 容 記念式典 / 交流懇親会

例会費 10,000円

大阪西ワイズメンズクラブ25周年記念「東日本大震災支援チャリティ落語会」

日 時 2月19日(日) 13:00受付、13:30開演

場 所 ホテルクライトン新大阪 / 会 費 5,000円(食事つき)
出 演 森乃福郎 露の団四郎など

京都プリンスワイズメンズクラブ25周年記念例会

日 時 2012年2月25日(土) 16:00 - 20:00
場 所 グランドプリンスホテル京都(京都市左京区宝が池)
会 費 10,000円

神戸YMCA第28回午餐会「岩手県宮古からの震災支援活動レポート」

日 時 12月18日(土) 正午~午後2時
場 所 神戸YMCA本館 4階、サイコー亭
内 容 池田勝一さん(盛岡YMCA宮古ボランティアセンター長)によるお話し。
会 費 1,500円 申込は本部事務局へ(電話078-241-7201)

神戸栄光教会創立125周年記念コンサート

「鈴木 秀美 チェロ・リサイタル: J.S. バッハ「無伴奏チェロ組曲」
日 時 2月11日(土・祝) 14:30開場、15:00開演
場 所 兵庫県庁前、神戸栄光教会礼拝堂
会 費 入場無料 自由献金あり。/ 神戸生れの国際的なチェロ演奏者です。

B Fからのお願い

使用済み切手の担当を、山田喜代子さんが引き受けて下さいました。
毎月の例会時に、その都度、ご持参して下さるよう、お願いします。

会計からのご連絡

例会時に2011年度第3四半期(1月~3月分)の会費9千円を納入して下さい。
郵便振込もできますのでご利用下さい。会費についてのご相談は、野口メンまで
記号 14330 番号 8046701 口座名義 神戸西ワイズメンズクラブ

理 事 通 信 西日本区理事 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

”Contribute to the Community through Active Services with Love”

新年を迎えた1月には、西日本区各地でワイズの新年例会が開催され、気持ちも新たに新しい年をスタートされたことと思います。昨年は西日本区においても、東日本大震災への様々な支援活動が行われており、3月に発行予定の西日本区報第2号にその一例が掲載される予定です。それらの事例は改めてお目を通して頂くとして、今日は少しヘキサゴンDBCの話に触れてみたいと思います。

昨年6月の西日本区大会で東西日本区の6クラブ(京都ウエスト、大阪西、神戸西、広島西、熊本にし、東京西)がヘキサゴンDBCを結ばれました。(既に結成されていたペンタゴンに広島西が加入)せっかくの機会ということで、共同して東日本大震災の支援を行おうと話し合われました。10月末にヘキサゴンの中の4クラブ6名が東北の被災地を訪問され、被災地のワイズ4クラブやYMCAの協力を得て、現地の視察や関係者のお話を聞かれ、その時の状況や参加者の感想などを小冊子にしてまとめておられます。ヘキサゴンでは今回の被災地訪問時を含め既に献金150万円を、現地のYMCAとワイズメンズクラブに寄贈されています。更にこの時、仙台YMCA総主事と今後の支援について話された結果、大震災で親を亡くされたような、経済的に大変厳しい環境にある幼児が、YMCAの幼稚園に入園するのを援助するプログラムに参加することを検討されています。この園児の支援には1人1年で40万円前後掛かり卒園までに2~3年要しますが、大震災で

親を亡くした子供を自分の子や孫の様に目に見える形で支援出来るのは素晴らしい活動ではないかと思ます。もしもヘキサゴン以外で、西日本区各部や各クラブで参加を検討していただける場合はご相談ください。1 クラブでの援助が難しければ、複数のクラブ合同で、または部で支援することも考えられると思ます。今回のヘキサゴンの様なDBCでの支援は大変参考となる事例です。ヘキサゴンDBCの今後益々の活躍を期待したいと思ます。東日本大震災復興支援に関して、他にも協力を呼びかけた方が良い様な活動があればぜひご紹介ください。一年で一番寒い季節ですが、お身体に十分ご留意いただきまして、ワイズダムの発展に一層のご支援とご協力をよろしく願います。

2-1後期半年報集計結果について

皆様のご協力のもと、後期半年報の数値が確定いたしました。1月1日現在 1,693名です。

中部127名 9 びわこ部155名 4 京都部489名+17 阪和部147名 6 中西部166名 8

六甲部149名+9 瀬戸山陰部88名+4 西中国部91名+7 九州部281名 7

合計1,693名+3 前期半年報対比 15名の増ですが、前年同期比では3名の増です。

2-2 後期区費ならびに、各種献金の送金締切は、2月15日です。

今期の理事目標である東日本大震災復興支援献金第2次締切も2月15日です。目標額200万円達成に皆さまのご協力をお願い致します。

2-3 年賀はがき4等(お年玉切手シート)当選番号

地域奉仕・環境事業資金(CS 献金)の原点でもあります年賀はがき4等当選番号が決定致しました。

各組 共通下2ケタ 27 44 お手許の、年賀状を今一度ご確認ください、換金の上、ご送金下さい。

2-4 第15回西日本区大会 ご案内送付、参加登録申込受付開始

1月末に第15回西日本区大会(6月9日~10日米原文化産業交流会館・長浜ロイヤルホテル開催)のご案内状を各クラブ会長宛てにお送りさせていただきました。各クラブのメンバー分をまとめて送付しておりますので配布を宜しく願います。参加登録の受付を開始しています。各クラブに於いて、代表者が『参加登録申込書』をまとめてクラブ一括でWebにてお申し込みをお願いします。第1次申込締切は3月31日ですが、お早目のお申込をお願いします。

第15回西日本区大会ホームページ <http://www.ys-nagahama.com/yswest15th/>

神戸YMCAマンスリーレポート

1、新年を迎えて

1月4日(水)の新年職員礼拝には中道基夫副会長(副理事長)が奨励を担当して下さり、新年のメッセージを伝えてくださいました。YMCAは「人を喜ばせる場」と同時に、「人が自分で喜びを得ることを設定できる場」とであるということ、またその「喜び」や「楽しみ」は簡単に消費され枯れていってしまう現代社会の中で、どのようにそれを「心の平和」につなげていくことができるかがYMCA職員である私たちに課せられた課題ではないか、というお話でした。改めて、このメッセージも心に留めて新年の業務を始めたいと思ます。

2、125周年記念イベント「音楽と祈り」、感動のフィナーレ!

去る1月7日(土)に、1年間続いた創立125周年の記念イベントを締めくくる「音楽と祈り~あなたとともに~」が東灘区民センターうはらホールで開催され、多くのYMCAに集う方々と共に感動の時を過ごすことができました。長い間、実施に向けての検討を続け、準備をしてきてくださった実行委員会並びにプログラムタスクの皆さんのお蔭で、素晴らしい企画がなされ、実施はYMCAらしいほのぼのとした温かみのある催しとなりました。構成は神戸YMCAの125年の歴史をイメージした「誕生」「旅・成長」「崩壊・挫折」「再出発と現在」の4部に分かれ、それぞれに聖書朗読、祈禱、お話や歌、ダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられました。テーマソングとして大野勉さん(常議員・神戸ポートワイズメンズクラブ)が作詞作曲された「あなた(YMCA)とともに」が、阿部望先生のアレンジにより何度もバージョンを変えて登場し、伝えたいメッセージとして印象に残りました。入場者は公式発表で576名。幼稚園児から学童保育やキッズダンスの小学生、ボランティアリーダーやワイズメン、混声合唱団くさぶえや神戸YMCAベルクワイアーの皆さん、その他、多くの方々が参画して下さったことに心から感謝をします。神戸YMCAが大切なものを過去から受け継ぎ、そして未来に引き継いでいくこ

とができる、ということを確認できるようなイベントでした。関係の皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

3、盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンター (VC) 訪問

去る1月20日(金)から22日(日)までの3日間、武田寿子会長、中尾秀一国際委員長、小寺隆志主事(三宮ランチ)と私と4人で、東日本大震災の被災地視察を目的に岩手県を訪ねました。まず、盛岡 YMCA を訪問し、濱塚総主事から盛岡 YMCA の現状について、また宮古センター開設についての経緯をお伺いした後、バスで2時間かけて宮古市まで。日本キリスト教団宮古教会の中に設置された宮古 VC を訪ねました。宮古 VC は現在、元大阪 YMCA 主事であった池田勝一さん(「7、今後の予定」参照、次回午餐会ゲストスピーカー)がセンター長で、横浜 YMCA から出向中の大塚さんが全国からのボランティアをリードして、貴重な働きをしておられます。私たちは赤前地区にある仮設住宅を訪問し、もちつきを通して仮設住民が集まる機会の提供にボランティアとして参加。また魚菜市场という人が集まる場所でのもちつき、たこ焼き作りを通して、住民と触れ合う機会も与えられました。また、その間、「万里の長城」と呼ばれた高さ10mの防潮堤が無残にも破壊され、津波に乗り越えられた田老町をはじめ、宮古の数ヶ所の被災地を視察させていただきました。自然の脅威に対して、寡黙に立ち向かっている方、なぜ自分たちがこのような目にあうのかとやるせないため息を漏らす老婦など、何人かの方々と触れ合い、お話を伺うことができ、逆に励まされた経験でした。神戸 YMCA は仙台 YMCA を中心とした支援活動を続けていますが、昨年10月以来、宮古 VC にも応援ボランティアを派遣しており、今後も継続できれば、と願っています。

4、今後の予定

1) 第28回午餐会

盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターの長として、今や地元で親しまれる存在です。宮古での貴重な働きを共に伺い、学びたいと思います。是非、ご参加ください。

日 時: 2月18日(土) 正午～午後2:00

場 所: 神戸 YMCA 4F 神戸サイコー亭

テーマ: 「岩手県宮古からの震災支援活動レポート～本当の隣人となるために～」

講 師: 池田勝一さん(宮古ボランティアセンター長)

会 費: 1,500円(昼食費含む)

* 本部事務局までお申込ください。